

脚 本 名	光の射す方へ
作 者 名	向井 瞬
上 演 学 校 名	県立秦野高等学校
あ ら す じ	高校演劇地区大会に挑むとある演劇部。トラブル続きの舞台中、朱莉と静乃は照明室で奮闘する……。
作 者 連 絡 先	dreamfactory132@gmail.com (向井瞬あて)
備 考	第 59 回大会

# 光の射す方へ

作・向井  
瞬

登場人物

咲田 朱莉

(高校二年 女)

檜山 静乃

(高校二年 女)

高校演劇地区大会の調光室。

朱莉と静乃が入ってくる。朱莉が調光卓に座る。

開演のアナウンスが入り、ベルが鳴る。

間。

静乃 ……朱莉、客電。消さないと。

朱莉 えっ？ こっちでやるの？

静乃 だって全然消えないし。

朱莉 え、ちょ、待って待って。どれ？

静乃 え、わかんないよそんなの。朱莉講習受けたんじゃないの？

朱莉 受けたけど。あんなの一回で全部覚えられるわけないじゃん。えー……、あ、これ？

客電、不格好に落ちる。

静乃 あ、消えた。……でもこれって

朱莉  
ちよつと黙って。

朱莉、調光卓を操作し、最初のシーンの明かりを入れる。

朱莉  
……セーフ。

静乃  
いやアウトじゃない？

朱莉  
いやいや。

静乃  
いやいやいや。

朱莉  
……ダメ？

静乃  
私に言われても。

朱莉  
だいたいさあ、客電の操作なんてホールのスタッフさんとか運営の先生とかがやるもんじゃないの？

静乃  
このホールって小屋付きの照明スタッフとかいるの？

朱莉  
……いないか。ボロいし。

静乃  
だよねえ。うちの地区だけだよこんなの。横浜とかの演劇部は絶対綺麗なホールでやってるよ。

朱莉  
見に行ったことあるの？

静乃 ないけど。

朱莉 ないんかい。

静乃 でもそんな感じしない？

朱莉 する。すっごいする。横浜ってなんかキラキラしたイメージ。

静乃 まあイメージだけだけど。見たことないし。

朱莉 うん。イメージ。

静乃 ……とりあえず王子が出るとこまではこの照明だから……ちよつと休憩。

朱莉 初っ端からほんと焦った……。

静乃 (ストップウォッチを見て) 時間的には二分も無かったからオーバーすることはないと  
思う。いつも通しで五十分くらいだし、多分。ただ……。

朱莉 減点？

静乃 わかんないけど。

朱莉 あーもー聞いてないよこんなの。

静乃 リハーサルの際は客電消さなかったしね。

朱莉 あ、そう。そうだよ。誰も気づかなかったわけ？

静乃 朱莉も気づかなかったじゃん。

朱莉 まあ。

静乃 しょうがないよ。みんな大会初めてだし。

朱莉 ……だね。

静乃 うん。

朱莉 先輩たち残ってくれてればなあ……。

静乃 ……うん。

朱莉 いや、集中集中。本番中なんだから。

静乃 あ、王子のシーンの明かり先に作つとかないと。

朱莉 ああそうだ。えーと、三番のやつか。

静乃 え、じゃなくて、幕上がる前のがゼロ番だから、次は二番。

朱莉 あぶね。静乃いて良かったわー。

静乃 王子のシーン三番にしたらヤバいから。夜のシーンなのに真っ赤になって火事か修羅場かってなるから。

朱莉 それはそれで面白いかも。

静乃 こらこら。まあ私が言わなくても気づいたと思うけどね。二番と三番全然違うし。

朱莉 まあね。

静乃 まあねじゃねえわ。

朱莉 なんかさー、こういう操作してると特に思うんだよね。

静乃 何が？

朱莉 このホールのボロさ。

静乃 それはもういいから。

朱莉 県大会の照明室だところ、事前に明かりをプログラムするんだって。本番は切り替え操作だけすればいいらしい。

静乃 へえ。よく知ってるねそんなこと。

朱莉 美佐先輩が言ってた。

静乃 ああ。なるほど。

朱莉 美佐先輩にも会ってないなー。

静乃 受験生だし大変だよねきつと。

朱莉 受験かー。来年は自分がそうなるっていう実感がまったく無い。

静乃 朱莉はもうどこ受けるとか決めた？

朱莉 まさか。まだ一年以上あるんだよ。

静乃 そうは言ってもあつという間でしょ。先輩たちも早めに決めとかなないと後悔するって言ってたし。

朱莉 え、静乃はもう決めてるの？

静乃 んー、まあ候補はいくつか。まだわかんないけど。



朱莉 はー。

静乃 ただ、オープンキャンパスとか行っても正直よくわかんないよね。なんかどこも同じような気がしてきて。

朱莉 もうオープンキャンパスなんて行ったの？ 真面目か。

静乃 え、夏の課題で出てたじゃん。

朱莉 そうだっけ。

静乃 おいおい。

朱莉 あー、なんか早く出せてって担任に怒られた気もするなー。

静乃 担任の先生に同情するよ。課題の存在すら忘れられて。

朱莉 ってかオープンキャンパスもそうだけどさあ。なんか高校入ってからどんどんせかされてる感じしない？

静乃 何が？

朱莉 進路のこと。入学した時からもう卒業後を考えろって言われてさ。高校受験終わったばっかじゃんっていう。

静乃 ああ、確かにそれは思った。

朱莉 今だってまだ高校生活半分くらいでしょ。

静乃 もう半分終わったっていう言い方もできるね。

朱莉 意地悪だなあ。

静乃 まあ先輩とか先生とかの話を全面的に受け入れるつもりも無いけど、先のこととは考えておくに越したことはないんじゃない？

朱莉 そりゃそうかもしれないけどー。

静乃 けど。

朱莉 ほら、先のことばかり考えてると目の前のことが見えなくなっちゃうでしょ。将来も大事だけどまず今が大事なんだよ。今だよ！

静乃 はあ。

朱莉 今だよ！

静乃 そんな何回も言っても流行んないよ。

朱莉 受験のことは受験生になってから考えればいいんだよ。

静乃 現実から目をそらしているようにも聞こえるけど。

朱莉 ソナコタナイヨ。

静乃 まあなんにしたって自分が当事者になってみないとわかんないよね。……あ、そろそろ。

朱莉 うん。

朱莉、卓を操作して明かりを変える。

朱莉 おつけ。……相変わらず王子派手だなー。

静乃 ね。

朱莉 そういえばあの衣装って誰が作ったの？

静乃 部屋にあった昔の衣装、司君つかさが自分で直したんだって。

朱莉 へー、司裁縫とかできたんだ。

静乃 多分朱莉より上手いよ。

朱莉 うっさいわ。えーと次は……。

静乃 ……司君、大丈夫かな。

朱莉 え？ 何が？

静乃 ……司君とこのみ、昨日別れたって。

朱莉 ……ええっ!?

朱莉、フェーダーを動かしてしまい赤い照明に変わる。

静乃 ちょ、赤い赤い！ 修羅場ってる！

朱莉 え、あちよ、ま、

静乃 戻して、戻すだけ、さっきのに！

朱莉、明かりを元に戻す。

二人、大きく息を吐く。

静乃 ……あ、麻衣<sup>ま</sup>ちゃんアドリブ入れてる。フォロー上手い。

朱莉 すまんマイマイ。あとでなんかおごる。

静乃 ていうか朱莉ー。ちよつと寿命縮んだんですけど。

朱莉 いや静乃が急に変な話するから！

静乃 あ、ごめん。

朱莉 え、てか別れたの？ あの二人。

静乃 うん。

朱莉 どっちから？

静乃 このみが振ったって聞いたけど。

朱莉 どこ情報それ。

静乃 麻衣ちゃん。

朱莉 マイマイか。微妙だなー。

静乃 恩人に対してその態度よ。

朱莉 それとこれとは話が別。

静乃 でももう結構広まってるっぽいよ。今朝集合した時みんなそわそわしてたし。

朱莉 そわそわ？ してた？

静乃 うん。多分本番に影響出ないか気にしてたんじゃないかな。私もそうだし。

朱莉 え、知らないの私だけ？

静乃 そんなこともないと思うけど。

朱莉 ……そわそわしてたのは本番前でみんな緊張してたからじゃないかな。

静乃 ……うん。そうだね。

朱莉 やめてよその目！

静乃 冗談。

朱莉 てかなんで昨日さー。今日が大会本番なのわかってるでしょ。

静乃 そりゃねえ。

朱莉 司がメンタル豆腐並みな知らないわけ？

静乃 そりゃ知ってるでしょ。付き合ってたわけだし。

朱莉 じゃあなんで。

静乃 知らないよそんなの。

朱莉 だよねえ。

静乃 ……失敗、させたかったのかも。

朱莉 ……えええええー……。

静乃 ないか。

朱莉 いや、このみの場合むしろありそうだけど。

静乃 ですよねー。

朱莉 でもそうだとしたらムカつく。個人的な復讐のために部員全員巻き込んでること

でしょ。

静乃 ……うん。

朱莉 後で体育館裏に呼び出してやる。

静乃 ここから学校まで一時間以上かかるよ。

朱莉 じゃあ舞台裏。

静乃 本番終わったら入れないから。舞台裏。

朱莉 あーなんかそう言われると今日の王子はキレがない気がするなー。

静乃 ね。高笑いがこう、引きつってるっていうか。

朱莉 ねえ。

二人、しばらく舞台を見ている。

朱莉 え、ねえあれ、もしかして泣いてんの？

静乃 ぼい。うわ、泣きながら笑ってる。

朱莉 いやあれは見てる人ドン引きでしょ。どういう精神状態なの。

静乃 本人頑張ってるんだしもうちよつと応援しようよ……。

朱莉 そうだけど……あ、もっかい赤くしてみようか。

静乃 やめて。カオスすぎて難解な芝居みたいになるから。

朱莉 ……なんで二人別れたのかな。

静乃 さあ。そこまでは。

朱莉 仲良さそうに見えたけどなあ。

静乃 それは私も思った。

朱莉 部活内でも隠してなかったしさ。逆にイチャイチャしててイラっとくるぐらいだったのに。

静乃 ほんとそれ。昨日の部活終わりだって一緒に帰るために着替えるの待ってて……あ、でもその後別れ話したのか。

朱莉 ああ、その姿も演技か……。このみ音響より役者に向いてるんじゃないの。

静乃 あー、一年の役者少ないからいいかもね。

朱莉 いや素で返さないでよ。

静乃 まあでも、どっちにしろ司君と同じ舞台には立てないか。

朱莉 でしょうね。

静乃 やだなあ。ギスギスするの。

朱莉 だから部内恋愛って嫌なんだよ。惚れた腫れたの浮き沈みが部のパフォーマンスに直

接影響するじゃん。

静乃 まったくだ。

朱莉 ……やっぱりどっちか辞めたりするのかな。

静乃 ……どうだろ。

## 2

朱莉 あ、そろそろ次だ。

静乃 三番は入れるの一瞬ね。ちよつとだけ赤だよ。



朱莉 わかっているよ。何回練習したと思ってるの。

朱莉、明かりを赤くして戻す。

朱莉 ね。

静乃 ドヤ顔。

朱莉 見えてないでしょ。

静乃 声でわかるよ。

朱莉 そりゃ失敬。

朱莉、卓の上や周囲をぐそぐそ探る。

静乃 ……何やってんの？

朱莉 ……いや、ちょっと見つからなくて。

静乃 何が？

朱莉 ……えっと、照明の紙。

静乃 キューシートのこと？ きつかけとキュー番号が書いてあるやつ。

朱莉 いやキューシートくらい知ってるよ。ってかあるよ。さつきから見ながら番号確認してたでしょ。

静乃 数分前の記憶も無くなったのかと思って。

朱莉 静乃が日頃から私をどう思ってるのかよくわかったよ。

静乃 キューシートじゃないなら何？ 照明の紙って。

朱莉 なんていうの、こう、どのフェーダー動かしたらどの照明がつくか、みたいなのが図になってるやつ。

静乃 そんなのあったっけ。

朱莉 照明の講習会でもらったの。なんか手作り感満載のやつなんだけど。

静乃 ふーん。

朱莉 多分ずっとコピーして使ってたよね。文字とか図とかがボケボケですっごい見づらいの。

静乃 ああ、学校の授業でもたまにそういうプリントあるよね。

朱莉 何世代目なんだか知らないけど、そろそろ新しく作り直した方がいいと思うんだよね。

静乃 ……で、なんで今それ探してるの？

朱莉 ……次の照明って王子にスポット当ててるじゃん。どこ動かすか一応確認しようと思っ  
て。

静乃 え？ キューシートに書いてあるでしょ？

朱莉 いやさ、ここで下手側のサスを使うっていうのは書いてあるんだけど、どのフェーダーで下手のサスがつくのかは書いてないじゃん。

静乃 あー。……え？ それってまずいんじゃないの？

朱莉 いやいや。ちゃんと覚えてるんだよ？ リハでも確認したし。ただ一応ね。念のため確認しようと思っただけで。

静乃 ……ほんとに？

朱莉 あ、ほら。ちゃんとメモしてあるから。……暗いところで走り書きしたからなんて書いてあるのかちよつと読めないけど。

静乃 意味無いやん。

朱莉 まあほら、最悪間違えても誰もいないところが光るだけだから。

静乃 いやそれほんとに最悪だから。

朱莉 まだ時間あるし、大丈夫。

静乃 そうだけど……。

朱莉 ほんとどこしたっけなー。

静乃 それほんとに今日持つてる？ 今日どっかで見た？

朱莉 え？ えーと……朝出かける前に一通り荷物確認して……その時にはあった。

静乃  
ふむ。

朱莉  
あーこれ大事だわーって思ってたん机に置いて……。

静乃  
え、まさか。

朱莉  
……あーでも台本とかも一緒に置いてたから、台本がここにあるってことはかばんには入れたはず。

静乃  
……あそう。

朱莉  
あ、そうだ。この会場の控え室で出したわ。あーこれ大事だわーって思ってたん机に置いて……。

静乃  
いちいち机に置かないでよ。怖いから。

朱莉  
……そうだ。こっち持ってくるの忘れたら困るから台本に挟んだんだ。これこれ。

静乃  
勘弁してよー。

朱莉  
ごめんごめん。あ、でもほら、ちゃんと覚えてたので合ってたよ。

静乃  
それ以前にまず大事な物をなくさないようにしてよ……。

朱莉  
……善処します。

朱莉、次の明かりを作った後、舞台を見る。

朱莉 ……今日のマイマイめっちゃいいね。王子が酷いから余計そう見えるのかもしれないけど。

静乃 いやあれは相当気合い入ってると思うよ。多分麻衣ちゃんが一番この大会に思い入れあるだろうし。

朱莉 ……そっか。

静乃 ……今日は大丈夫だよね。

朱莉 何が？

静乃 この後の麻衣ちゃんの台詞。

朱莉 あー。結局昨日五回くらいトチったよね。

静乃 もういつそ台本書き換えちゃえば良かったんだよ。言いにくいんだから。

朱莉 でもマイマイ本人が絶対変えるなって。

静乃 そういってこ頑固だよね……。

朱莉 りり先輩が言ってたからだよ。台詞は書いた人の意図があるんだから一言一句変えずに言えって。

静乃 麻衣ちゃん、りり先輩のこと尊敬してたからなあ。

朱莉 尊敬っていうより崇拝に近いかなあは。

静乃 確かに。

朱莉 自分の台詞以外にりり先輩の台詞全部覚えてたからね。言い回しとか立ち回りとか真似して、空き時間にいつつも練習してたし。

静乃 そうそう。

朱莉 先輩がトイレ行く時は必ずついて行ってたし。先輩の分の焼きそばパン買いに行ってたし、いつも先輩の靴なめてたし。

静乃 それはない。……あ、ここ。次の台詞。

二人、身を乗り出して舞台を見る。

無言で「いけ、頑張れ」からの二人同時に「あちゃー」の動作。

朱莉 ……まあ、しょうがない。

静乃 王子のフォロー考えながら動いてるもんね。さすがの麻衣ちゃんもキヤパオーバーかな。

朱莉 うん……。

静乃 あと照明のフォローも……。

朱莉 ごめんで！ パフェ！ パフェおごるから！

静乃 私に言われても。

朱莉 静乃にはおごらないよ。

静乃 知ってるよ。

朱莉 むしろ静乃もおごれ。

静乃 なんでやねん。

朱莉 さっきのミスは静乃にも責任あるでしょ。

静乃 うっ。……まあそうか。わかったよ。

朱莉 よし。

静乃 麻衣ちゃんにはいつも迷惑かけてるしね。

朱莉 そうそう。

静乃 頑張りすぎなんだよ。

朱莉 ……マイマイ、多分昨日家帰ってからも練習してたよね。

静乃 ……うん。ちよつとは寝れたのかな。

間。

朱莉 ……さっきマイマイはこの大会にかけてるみたいなこと言ってたけど。

静乃 え、うん。

朱莉 去年のことがあったから？

静乃 あー、うん、まあ。別に深い意味があつて言ったわけじゃないんだけど、麻衣ちゃん部長だし、特に先輩たちにべったりだったからなあ。先輩たちの気持ち背負いすぎちゃってるんじゃないかな。

朱莉 確かに。

静乃 別に麻衣ちゃんのせいじゃないのにね。

朱莉 ……そうだね。

静乃 ……あ、次大丈夫？

朱莉 うん。もう作つてある。……あれ？

静乃 どうしたの？

朱莉 王子の立ち位置違くない？

静乃 え？ ……あ。

朱莉 五番のスポットつて下手前だね。めっちゃ上手にいるんですけど。

静乃 あああああ……。

朱莉 スポット上手のやつに変える？ まだ間に合うけど。

静乃 いやそうすると後の動きが全部狂うと思う。この後大臣が上手から出てくるからもろに被っちゃう。



朱莉 司あー……。

静乃 こっち見てないかな。伝わらない？

朱莉 舞台からだだと完全に逆光だし。

静乃 お願い！ 気づいて！

朱莉 あ、動いた！

静乃 え、ほんとに？

間。

二人 ……いやいやいやいや！

朱莉 そっちじゃない！ そっちじゃないから！

静乃 下手！ 下手前！

朱莉 ったく。だから振られんだよ。

静乃 いやそれは言いすぎ。

朱莉 あ、行きそう！

静乃 行け！ そのまま！ そっち！ ああ違う！

朱莉 違うって！ 下手！ もうなんだこれ、スイカ割りか！ ……ああそう！ その方

向！

静乃 そうそつち！ まっすぐ！

朱莉 そこ！ よし！ そこで止まる！ そう！

静乃 朱莉！

朱莉 おっけ！

朱莉、明かりを切り替える。

二人 よしっ！

朱莉 ……私らは何と戦ってるんだ。

静乃 ……さあ。

### 3

朱莉 えーと、この後六番で……七番まではちよつとあるか。

静乃 そうだね。

朱莉 照明使用の荒い演出だこと。

静乃 別にそんな多くもないでしょ。

朱莉 そう？

静乃 他の学校の文化祭見に行った時、三分に一回くらい暗転してる芝居あったよ。

朱莉 それは悪い例でしょ。

静乃 そうなの？

朱莉 暗転の数は少ない方がいいんだって。客の集中が途切れるから。暗転の数数えてる審査員もいるって言ってたよ。

静乃 へー。……そもそも演劇ってどうやって審査してるんだろ。

朱莉 そりゃ演技が上手いとか演出がいいとか、そういうことじゃないの？

静乃 でもどの学校も全然違う芝居やるわけでしょ。身近な日常っぽい話と派手めのミュージカルとじゃ求められる演技が全然違うと思うんだけど。

朱莉 まあねえ。

静乃 暗転が少ない方がいいって言ったって脚本によっては入れなきゃならぬだろうし。

朱莉 暗転が多くなる脚本はそもそもやるなってことかなあ。あとは場面転換を暗転じゃない演出で工夫するとか。

静乃 暗転じゃない演出って？

朱莉 たたとえば誰かにスポットを当ててその人が喋ってる間に転換するとか、真っ暗にしな

いであえて転換を見せるってだけでも観客のストレスは減るよね。

静乃 へーすごい。照明のスタッフみたい。

朱莉 照明のスタッフだよ。

静乃 そうでした。

朱莉 まあ全部美佐先輩の受け売りだけど。

静乃 なんだ。

朱莉 なんだってことはないでしょ。ちゃんと知識を身につけてるんだから。

静乃 確かに。そういう言い方もできるか。

朱莉 今回の芝居だって教えを生かして私なりに照明工夫してるんだよ？ 最後の方でサイ

ドから当てるやつとか。

静乃 ああ、あれいいよね。こう、切ない感じが際立つっていうか。

朱莉 でしょ。もっと褒めてもいいのよ。

静乃 すごいすごい。

朱莉 うわ雑っ。

静乃 あー、そういう舞台上の工夫とかで差がつくってことなのかな。

朱莉 審査？

静乃 うん。

朱莉 そういうのもあるかもね。ちゃんと一つの舞台として作り込まれてるから、みたいな。

静乃 確かにどんなジャンルでも作り込みが甘いと気になるよね。

朱莉 すっごい細かいところまで見てるよ。きつと。

静乃 細かいところ、か……。

朱莉 何？

静乃 いや、だとすると細かいところのミスは論外ってことかなって。

朱莉 えつと……それははつまり……。

静乃 この芝居……さっきの司君とか。

朱莉 ……だよね。

静乃 あ、まあわかんないけどね。想像でしかないし。

朱莉 うん……。

朱莉、明かりを切り替える。

朱莉 ……六番完了。

静乃 お疲れ。

朱莉 ……なんでこんな上手くないかな。

静乃 え？

朱莉 ここ最近の通し練習で大きなミスって無かったじゃん？ けど今日は……いやまああの二人が別れたからって言ったたらそうなんだけど。

静乃 それ以外に照明のミスもあつた気がするけど。

朱莉 結構しつこいな君は。だいたいそれ自分の首も絞めてるからね。

静乃 そうだった。

朱莉 今年はさ。……今年の大会は、全力を出し切りたかつたんだよね。

静乃 ……去年は不完全燃焼だったもんね。

朱莉 不完全どころかそもそも燃焼すらしてないし。

静乃 確かに。……あのインフルエンザに全部持ってかれちゃった。

朱莉 インフルのくせに気が早いんだよ。まだ十一月始まったばかりなのに。

静乃 まあでもしょうがないよね。部内で広がっちゃったし。

朱莉 さすがに役者が三人もダウンするとね。どうしようもないわな。

静乃 うん。

朱莉 ……昨日の夜さ。去年のこと思い出してたんだ。なんとか舞台上に立ちたいって、どうにかならなかったって前日まで粘って先生たちと交渉して。

静乃 やったやった。

朱莉 無理に決まってるよね。うつすから学校にも来ちゃいけないのに、数百人の前ででかい声出すなんてさ。

静乃 このホールなんて完全に密閉空間だし。

朱莉 でもなんかしなきゃいらなかったんだよね。自分たちがやってきたことが全部無駄になるって思うと。……多分、先輩たちはもっと。

静乃 先輩たち、絶対関東行くっていつも言ってたもんね。

朱莉 うん。

静乃 前の年に県大会行ったってだけでも十分すごいけど。

朱莉 ほんと。今の状況考えるとなおさら。……きっとその時の経験が先輩たちの自信になって、大会に対するこだわりにもなってたんだよね。

静乃 うん。そう思う。

朱莉 先輩たちほどじゃなかったけどさ。私だってやっぱ出たかったよ。毎日毎日練習してさ。いざ本番って時に自分じゃどうしようもない部分で出れなくて。

静乃 まあインフルは責められないよね。

朱莉 ……ほんとは責めたかったけど。

静乃 え？

朱莉 ……マイマイが悪いわけじゃないってもちろんわかってるし、もしかしたら私がかか

ってたかもしれないし、そんなのどうしようもないって、仕方ないってわかってるん  
だけど。

静乃 ……。

朱莉 あの時はとにかく誰かのせいにしたくて、お前のせいだって言いたくて、でもそんな  
こと絶対言いたくなくて、頭ん中ぐしゃぐしゃになってボロボロ泣いたよ。二度とあ  
んな思いはしたくない。

静乃 朱莉……。

朱莉 あ、ごめん。静乃も同じ状況だもんね。そんなん分かってるって話だよ。

静乃 あ、ううん。……私はそんなに。もちろん大会出られなかったのは悔しかったけど。

朱莉 そっか。……あー、まあだから今日は私も特別な思いがあったわけですよ。

静乃 うん。

朱莉 とか言いながらミスなんかしてなんの思いだっという。

静乃 確かに。

朱莉 やっぱ本番には魔物が潜むってやつなのかなあ。いろんなトラブルが絶妙に重なって  
る気がする。

静乃 あ、でも司君だんだん良くなってきた感じしない？



朱莉 ……あー、言われると確かに。……まだ終わってないか。

静乃 そうだよ。まだ半分もいってないし、むしろここからでしょ。

朱莉 うん。少なくとも今やれることをやらなくちゃね。

静乃 この後またポカやらかしたらパフェじゃ済まなくなるよ。

朱莉 パフェ以上ってなんだ……食べ放題とか？

静乃 おごる前提で考えんなや。

朱莉 もちろんこれ以上一円たりともおごるつもりは無いけどね。

静乃 やだかつこいい。

朱莉 惚れるなよ。

静乃 調子乗んな。

二人、舞台を見る。

#### 4

静乃 ……あ、ここの台詞好き。

朱莉 え、どれ？

静乃 ……「たとえまた時間を巻き戻したとしても、私は何度でも同じことをするでしょう」。

朱莉 覚えてるんだ。

静乃 ここだけね。麻衣ちゃんの言い方がまた印象的で。

朱莉 あー、わかる。

静乃 陽菜ひなが書く脚本って独特だよ。幽霊が出てきたり宇宙人が出てきたり動物が喋った  
り、一見荒唐無稽に見えるんだけど、なんか妙に納得させられちゃうというか。

朱莉 今回も普通に魔法とか出てくるしね。

静乃 そうそう。姫とか王子とかも出てきてまさかの西洋ファンタジーかって思ったら中  
身は意外と身近な話っていうか。

朱莉 最初読んだ時はどうやって收拾つけるんだろうって思ったけど。

静乃 持って行き方がほんと上手いんだよね。あー、こうなるのかっていう。

朱莉 うん。最後まで読んだらやっぱ陽菜すごいなってなった。

静乃 書くのに時間がかかるのだけが難点だけど……。

朱莉 それ。今回も本番に間に合うのかめっちゃハラハラしたわ。

静乃 書きかけの状態で練習始めちゃったからね。

朱莉 役者陣後半の台詞よく入ったと思うよ。

静乃 みんな最後の追い込みヤバかったって。夜中に声出してて親に怒られたりとか。

朱莉 やっぱ私役者は無理だなあ。覚えるのほんと苦手だし。

静乃 私も。

間。

静乃 ……一度陽菜にどうやって脚本書くのか聞いたことあるんだけど。

朱莉 うん。

朱莉、明かりを切り替える。

朱莉 ……それで？

静乃 あ、うん。なんかこうだったら面白いだろうなっていうシチュエーションとか台詞とかをまず考えて、それを軸にしてどうしたらそこに繋がるかを考えるんだって。

朱莉 先にストーリーの大枠を考えるとかじゃないんだ。

静乃 うん。だから一回詰まるとなかなか抜け出せないって。

朱莉 難しいことしてんなー。まあどういのが正攻法なのかもわかんないけど。

静乃 あと、ある程度書き進めたら最初から読み直すって言うのね。

朱莉 それは普通なんじゃないの？

静乃 そうすると台詞回しとかが気になって結構修正するらしいのよ。で、また少し進んだ

らまた最初から読んでまた同じ所が気になって修正したりするんだって。

朱莉 無限ループか。

静乃 いちいち最初から読み直すから先に進むにつれて書くペースが遅くなっていくという。

朱莉 それで後半あんなに遅くなったの？

静乃 らしい。

朱莉 律儀っていうかなんていうか……めちゃくちゃめんどくさいね。

静乃 ほんと。

朱莉 私脚本も無理だわ。細かいこと気にしないし。っていうか気にできない。

静乃 そもそも文章書くの苦手でしょ。

朱莉 その通り。

静乃 まあ陽菜の性格もあるんだろうけど……なんていうか職人芸だよな。

朱莉 あれは他の人には真似できないな。

静乃 ただちよつと脚本に関しては陽菜一人に任せすぎかなって気もするけど。

朱莉 あー、まあそうだよな。周りが一緒にやるのも難しいし。

静乃 そうなんだよね。

朱莉 もしかしたら負担に感じてたりするのかな。

静乃 ……前に陽菜が三日くらい休んだの覚えてる？

朱莉 え？ あーうん。あつたね。……え、まさか。

静乃 ……うん。

朱莉 風邪とか言ってなかった？

静乃 私家近いから部活の帰りに寄ったんだけど……風邪じゃなかった。脚本がどうにも進

まなくて、合わす顔が無いって。

朱莉 別にそんな、誰も責めないでしょ。

静乃 もちろん私もそう思ったけど。でも多分陽菜もわかってたと思う。

朱莉 ……そりゃそうか。……真面目なんだよなあ。

静乃 それもあるけど、自分が作ったものに自信がないんだって。

朱莉 ……そうなの？

静乃 陽菜ってよく「これ面白い？」って言うじゃん。

朱莉 言う。めっちゃ言う。

静乃 あれ本当にわからないんだって言ってた。最初は面白いと思って書くんだけど、書いてる内に面白いのか面白くないのかだんだんわからなくなるんだって。

朱莉 いや面白いけどね。だから陽菜に任せてるわけだし。

静乃 そうなんだよ。陽菜もさ。自分の脚本をみんなが演じてくれるのはものすごく嬉しいって。けどその反面、自分なんか書いたもののために時間を費やすのは人生の無駄遣いなんじゃないかとか言うわけ。

朱莉 ネガティブだなー。

静乃 でも、ものを作るってそういうものかもしれないって思う。

朱莉 どういう意味？

静乃 私たちみんな面白いと思って芝居作ってるわけだけどさ。これを見てるお客さんとかはどう思ってるかわかんないよね。

朱莉 そう言われるとそうだなあ。

静乃 そういうこと考え出すとこう、演劇をやる意味とか難しさとか、そういう話になってっちゃうんだよね。

朱莉 なんか静乃も難しいこと考えてんね。……でもさ。

静乃 ？

朱莉 つまんないなって思いながらやったら見てる人も絶対つまんないよね。陽菜もさ。つ

まんないと思つて書いてるんじゃないくて、面白さが伝わるかが不安つてことでしょ。

静乃 そりゃまあ……。

朱莉 なら面白いと思うことを全力でやればいいんじゃないかな。そしたら伝わる可能性はあるわけでしょ。

静乃 うーん。

朱莉 まあ伝わらないかもしれないけど、でも伝わるかもしれない。そんなの考えたってわかんないんだつたら考えなくてもいいんじゃない？

静乃 ……それつて思考停止じゃない？

朱莉 そうかな。楽しんだ人が勝ちとか言うじゃん。

静乃 朱莉は考え方がシンプルでいいよね……。

朱莉 それ褒めてる？ けなしてる？

静乃 ……両方かな。

朱莉 ……後で半分覚えてろよ。

静乃 何それ怖い。

間。

朱莉、明かりを切り替える。

静乃 ……陽菜って将来小説家とかになるのかな。

朱莉 どうか……脚本書いてるからって将来も物書きって訳でもないでしょ。

静乃 でも本屋に陽菜の本が並んだりしたら素敵じゃない？

朱莉 そりゃね。まあでも難しいんじゃない？ いくらなんでも。

静乃 ……だよね。

朱莉 そういうのもあったらいいなって思うけどね。

静乃 うん。

朱莉 うん、よし。本番終わったら陽菜をねぎらってあげよう。

静乃 そうだね。

朱莉 今日打ち上げやるのかな。

静乃 え？

朱莉 打ち上げ。本番終わった後。

静乃 ああ。……どうだろ。

朱莉 みんなで行くならマイマイにだけおごるのもアレだよね。

静乃 まあねえ。

朱莉 審査結果今日出るわけじゃないし、みんなで行くなら最終日かなあ。今日だと今後の



話とかもできないし。

静乃 ……そうだね。

朱莉 次はクリスマス公演でしょ。さすがに陽菜が書くには時間ないし既成の脚本かなあ。

静乃 ……うーん。どうだろ。

朱莉 私は次もやっぱ照明かなー。静乃はどうすんの？

静乃 ー。まだなんとも。

朱莉 そっか。まあそうだよね。

間。

静乃 ……朱莉。私……

大音量でBGMが入り、すぐ消える。

朱莉 ……え、何今の。

静乃 ……今の曲……確か二場で流すやつだよね。

朱莉 確か。

静乃 音響のミスかな。

朱莉 このみい……って人のこと言えないけど。

静乃 珍しいね。このみがミスるなんて。

朱莉 ね。司の件といい、今日のこのみはトラブルメーカーだなあ。

静乃 ……でも変じゃない？

朱莉 何が？

静乃 ここつてもともと音入らないところだよね。

朱莉 あー、うん。そうだね。

静乃 違う曲かけるつもりでトラック間違えるとかならわかるけど、無音のところ間違えて入れるかな。

朱莉 それって……わざとってこと？

静乃 ……もしかしたら。司君調子出てきたから腹いせに……とか。

間。

朱莉 ……いやー、それは無いんじゃないかな。

静乃 え？

朱莉 ……ん？

静乃 いやてつきりやりそうとか言うもんだと思って。

朱莉 ー。確かにやりそうな感じもあるけど。

静乃 昨日別れた件もあるし。

朱莉 まあねえ。でもなんか違和感っていうか、このみの場合自分からミスはしないかなって。

静乃 そうかなあ。

朱莉 多分、このみって音響に関してはこだわりっていうか、プライドみたいな持ってると思うんだよね。

静乃 プライド？

朱莉 うん。さっきこのみのミスは珍しいって言ってたけど、あの子ほんとに失敗しないじゃん。このみが入ってから音響ミスで練習止まったことって無いんじゃないかな。

静乃 ……それは、確かに。

朱莉 ウチらの代に音響がないのもあるけど、梶先輩もこのみのことすごい褒めてたんだ

よね。私が褒めると「ミスしないのが当たり前じゃないですか」とかって言って、それはムカつくけど。

静乃  
言いそう。

朱莉  
確かこのみの親ってそういう系の仕事してる人なんだよね。

静乃  
ああ、なんか映像系の音響監督とかって。

朱莉  
そんな感じの。まあ別に親がそうだからってだけじゃないかもしれないけど、音響やることに思い入れがあるんじゃないかな。やっぱり音響やってる時のこのみ表情違うもん。

静乃  
そうなんだ。

朱莉  
ももとのセンスもあるんだろうけど、裏で相当努力してたと思うよ。それをこの場で自分から台無しにするってよりは、偶発的なトラブルが原因って方がありそうだと個人的には思うね。

静乃  
うーん。

朱莉  
まああとは、司が失敗してるのにこのみは完璧だったって方が、音響でゆさぶるより司にとってダメージ大きいんじゃないかな。

静乃  
……なるほど。

朱莉  
このみが考えそうでしょ。

静乃 いやあ、そんなこと思いつく朱莉が怖いよ。

朱莉 こらこら。そこは名推理を褒めるところでしょ。

静乃 えー。

朱莉 えーじゃねえわ。

間。

朱莉、明かりを切り替える。

その後しばらくしてまた切り替える。

静乃 ……やっぱり、みんな真剣なんだよね。

朱莉 え？

静乃 みんな舞台に対して思いがあって、それぞれの仕事をちゃんとしてるんだなって。

朱莉 何言ってるの。静乃も舞台監督なんてめんどくさいことやってるじゃん。

静乃 舞台監督補助、ね。

朱莉 そりゃ名前はそうだけどさ。舞台監督のチャコよりよっぽど仕事してるでしょ。

静乃 そんなことないよ。

朱莉 えー、そう？

静乃 うん。そんなこと言ったらチャコに申し訳ない。

朱莉 私はむしろチャコの方が申し訳なく思うべきだと思うけど。

静乃 チャコって一見何もしてないように見えるかもしれないけど、目立たないところで結構動いてくれてるんだよ。先生との交渉とか、大会の提出書類とか。

朱莉 へえ、ちよつと意外。

静乃 やっぱりそう思うよね。

朱莉 いや、静乃がチャコのことそんなに良く言うのが意外。

静乃 え、そう？

朱莉 いつつも大事な時にいなくて結局静乃がやる羽目になってるじゃん。リハの時すら来なかったし。

静乃 しょうがないよ。外せない用があるって言うんだから。

朱莉 そのくせ全部自分がやってきたみたいな顔して自分の主張通すしさ。今日だってチャコが舞台袖入るって言うから静乃がこんなところにいるわけで。

静乃 でも私はそれで良かったかなって思うよ。ほら、照明室って一度入ってみたかったし。

朱莉 あんたさあ……。

静乃 朱莉はチャコの方が良かった？

朱莉 ……んなわきゃない。

静乃 良かった。

朱莉 ほんと静乃はお人好しだね。

静乃 そんなんじゃないよ。……私はね。正直どっちでも良かったんだ。でもチャコが、今日はどうしても舞台袖にいたいって言ったから。やっぱりチャコはチャコで、今日の舞台に対して思うところがあるんだと思う。

朱莉 まあ、そうかもしれないけど。

静乃 ……麻衣ちゃんも陽菜もこのみも……朱莉だって、みんなそれぞれの理由で真剣にこの舞台に臨んでるんだよね。

朱莉 ……どしたの。急に。

静乃 みんな真剣なのに……私は、真剣じゃなかったなって。

朱莉 ……。

静乃 ……私さ。そもそも部活入ったのもなんとなくだったんだよね。周りがみんな部活入るって言うからまあ私も入ったとこっかなくて、それくらいのノリで。陽菜が演劇部見たいって言うからついて行って、なんとなくそのまま流れで私も入って。別に他にやりたいことがあるわけじゃなかったし。かといって演劇がやりたいわけでもなかったけど。

朱莉 ……うん。

静乃

役者やるのはちょっと抵抗あったからスタッフ畑でうろろしてさ。一通りかじったけど誇れるほどの技術は無くて。……今回の舞台監督補助もね。なんか他にやる人いなさそうだなーって思っただけ。そこにやる気とか思い入れとかそういうのは全然無いんだ。

朱莉

……。

静乃

いつもなんとなくで部活行って。もちろん自分の仕事はやってたつもりだけど、それ以上の気持ちなんて全然無くて。……私は、先輩たちの意志を継いで去年のリベンジをしたいわけじゃない。自分の作ったものへの責任感で学校を休んだりしない。自分の技術とか努力に対してプライドがあるわけでもない。私は……私がここにいる意味ってなんなんだろ。

間。

朱莉

……真面目かお前は。

静乃

え？

朱莉

静乃ってそういうところあるよね。さっき言ってたお客に伝わるかとかって話もそうだけど。気にしなくてもいいところを気にしてるっていうか。



静乃 そんなことは……。

朱莉 そんなことばっか考えてると将来ハゲちゃうよ。

静乃 茶化さないですよ。こっちは真剣に悩んでるのに。

朱莉 ほら。静乃も真剣じゃん。

静乃 何が。

朱莉 静乃も部活に対して真剣に向き合ってるから、だから悩んでるんですよ。

静乃 あ……。

朱莉 きつと関わり方なんて人それぞれだね。部活一直線じゃなきゃ駄目なのかって言ったらそんなこと無いだろうし。だいたいそんなこと言い出したら私なんか部活辞めなきゃだよ。マイマイとかみたいに命かけてるわけじゃないし。

静乃 ……朱莉はなんで演劇部入ったの？

朱莉 んー………だいたい静乃と同じかな。とりあえずなんか部活やりたいなーって思ったけどなんとなく見学行って、なんとなく入ってた。文化部だし緩いかなーって思ったけど基本放課後毎日あるし、土日も返上、夏休みも全部潰れて………ある意味詐欺だよな。

静乃 確かに。

朱莉 それだけ時間を費やして練習しても肝心の本番で失敗するしさ。照明のミスから始まって、役者もトチるし台詞は囁むし、果ては音響まで。………そう考えると今日の芝居

マジでボロボロだな。

静乃 ……そうだね。

朱莉 高校時代の貴重な青春消費して失敗してさ。意味とか言い出したらきつと意味無いと思うよ。

静乃 ええー……。

朱莉 もっと言っちゃえば、もし仮に一つも失敗しないで完璧に上演できたとしてもだよ。

今日のためにやったこと……このフェーダーの動かし方とかタイミングとか必死で覚えた照明の名前とか当て方とか、多分将来の仕事とかにはなんの関係も無くて一ミリも役に立たないよね。

静乃 ……うん。

朱莉 それでも今この場にいるわけで。なんでなのかって言われると正直よくわかんないけど……いや去年のリベンジとかって気持ちも確かにあるんだけど……でも多分結局のところ、楽しいからだよな。

静乃 楽しいから……。

朱莉 もちろん全部が全部楽しいわけじゃないけど。嫌なこといっぱいあったし辞めたいって思ったことも一度や二度じゃないし。

静乃 そうなの？

朱莉 そりゃそうだよ。それでもやっぱり続けてるのはプラスの感情があるからだと思う。

いくらなんとなく入ったって言っても最初に見た先輩たちの芝居が面白くなかったら入ってなかったと思うし、公演終わった後の充実感が無かったら続けてないよね。

静乃 そっか。……そうだよね。

朱莉 ……いやごめん。ちよつといい感じに言っちゃったけど、多分そんな綺麗な話じゃないな。

静乃 え？

朱莉 いやもちろん部活そのものも楽しいんだけど……なんだろう。こう、部活であって部活じゃない部分も自分にとって大きい気がする。

静乃 どういう意味？

朱莉 部活終わった後みんなで買い食いしたりとか、土曜練の時に部室でみんなでお昼食べたりとか。

静乃 ……部活帰りに公園でいつまでもだべってたりとか。

朱莉 電車に乗らないで無駄に一駅分歩いたりとか。

静乃 最終下校過ぎて昇降口閉められちゃったり。

朱莉 歌いながら帰って翌日苦情の電話が来たり。

静乃 家帰っても夜中まで電話でくだらない話して。

朱莉 本当にくだらないうことでケンカして気まづくなって。

静乃 仲直りに恥ずかしいこと言っちゃって後で死にたくなつて。

朱莉、明かりを切り替えながら話す。

朱莉 ……もしかしたら十年後二十年後に思い返して本当に無駄だったなつて思ふかもしれない。

ない。けど。その無駄かもしれないこと全部が全部、今の私を作つてゐる気がする。きつとこれをやつてなかつたら私は今の私じゃなかつたつて思ふんだ。

静乃 ……うん。

朱莉 あの台詞。

静乃 え？

朱莉 さつき静乃が好きだつて言つてたマイマイの台詞。私も好きなんだよね。えつと……  
「たとえまた時間を巻き戻したとしても」つてやつ？

朱莉 それ。ただ、どつちかつていうとその続き。

静乃 ……あ。

朱莉 ……「たとえまた時間を巻き戻したとしても、私は何度でも同じことをするでしょう。今この瞬間に意味が無かつたとしても、今この時、ここでやらなければ、その機会は

永遠に失われてしまうのだから」。

静乃 ……ほんと、いい台詞書くなあ。

朱莉 ね。

## 6

朱莉、明かりを切り替える。

間。

静乃 ……やめた。

朱莉 え？ 何が？

静乃 ……ほんとはね。この大会終わったら部活辞めようと思ってたんだ。

朱莉 え!? 辞めるの!?

静乃 だから、やめた。

朱莉 え？ どういうこと？ もう既に辞めたってこと？

静乃 いやだから、部活を辞めるのをやめたってこと。辞めないよ。

朱莉 わけわからん……。

静乃 いやわけわかるでしょ。部活は辞めません。続けます。

朱莉 あ、うん。……なんでそんな話になったの？

静乃 まあ、私の中だけで完結した話だから。気にしないで。

朱莉 ええー……。

静乃 大丈夫。もう解決したから。

朱莉 まあそれでいいならいいけど……。

間。

静乃 ……そろそろ終わるね。

朱莉 ……うん。

静乃 ……私、来年もやろうかな。

朱莉 え？

静乃 大会。うちってなんとなく三年の春で引退って流れになってるけど、別に三年で秋の大会まで引っ張ったって問題無いんじゃないかな。

朱莉 そうかもしれないけど、受験大丈夫なの？

静乃　そこはまあ、上手く両立というか……頑張る？

朱莉　びっくりするくらい言葉に安心感が無い。

静乃　なんかあんまり先のこと考えないでドーンとぶつかっていくのも面白いかなって。

朱莉　……。

静乃　どうしたの？

朱莉　……あんた本当に静乃？

静乃　そうだなあ。生まれ変わったニュー静乃っていうのはどう？

朱莉　……ダサ。

静乃　それボソって言うの本気っぽくて傷つくから。ほんとやめて。

朱莉　いや本気っぽいっていか本気だけど。

静乃　もっと傷つく！

朱莉　だって普通に無いでしょ。ニューで。

静乃　いやまあニューは正直どうでもいいんだけど。とにかく今はいろんなことをやってみたい気分なんだよね。

朱莉　自分から色々言っついてるんだけど、感化されやすすぎじゃない？　大丈夫？　将来詐欺とかに遭わない？

静乃　……それはそれで面白いかも。

朱莉 おいおい。

静乃 もちろん冗談だけど。

朱莉 ニューっていうかむしろネジ外れてポンコツになってない？

静乃 酷っ。そこまでじゃないでしょ。

朱莉 ……ごめん。

静乃 いや普通に謝られるとびっくりするわ。

朱莉 なんかに…無理してないかなって。

静乃 ……え、もしかして本気で心配されてる？

朱莉 ちょっとだけ。

静乃 いやほんとに大丈夫だって。むしろなんかスッキリしてる。

朱莉 ……そっか。

静乃 なんていうかさ。…今まで自分の中で何が引っかかったのか、自分が何をしたかったのかとか……ちょっとだけわかった気がするんだよね。だから、えっと……ありがと。

朱莉 ……どういたしまして。

静乃 うん。



間。

朱莉 ……私も何かしようかな。

静乃 ほら。そういう気分になってきたでしょ。

朱莉 そういうのも悪くないかなって。

静乃 朱莉も人のこと言えないよね。

朱莉 だね。

静乃 ネジが外れたポンコツ。

朱莉 そこ？ それだったらニュー朱莉とかのがマシなんだけど。

静乃 朱莉は前から変わんないでしょ。ニューじゃないよ。

朱莉 それっていい意味で？ 悪い意味で？

静乃 両方かな。

朱莉 後で一個分覚えてろよ。

静乃 何それ。

朱莉 さっき半分覚えてろって言ったから。これで一個分。

静乃 よくわかんないけど怖いなそれ。

朱莉 終わってからの楽しみってことで。

静乃 全然楽しみにできないけど……っていうかほら、まだその前にやることあるでしょ。

最後ミスったら目も当てられないから。

朱莉 大丈夫だよ。ビシッと決めるから。この芝居ともこれでお別れだしね。

静乃 わかんないよ。もしかしたら県大会行くかもしれないし。

朱莉 えー、このボロボロの状態で？

静乃 可能性はあるでしょ。まだ終わってないんだから。

朱莉 まだ終わってない、か。確かにね。

静乃 うん。

朱莉 んじゃま、今しかできないこと、やりますか！

朱莉、明かりを切り替える。

明るい音楽がかかり、幕。